

ことばのテーブル映像シリーズ 「10秒映画 第1集」

解 説

ことばのテーブル映像シリーズ「10秒映画:第1集」をお買い上げありがとうございます。この映像集は、ことばや認識の学習教材として作成されたものです。10秒から20秒程度のショートフィルムを素材として、作品概念や叙述概念、表現能力、題材-質問関係の理解などの育成を目的としています。

【映像の視聴方法について】

DVDプレーヤーでの操作方法

1. ディスクをプレーヤーに挿入し、再生ボタンでスタートしてください。
2. メニュー画面でお好みのコンテンツを選び、決定ボタンで内容を表示させます。

PCでの操作方法

1. DVDドライブに、ディスクを挿入してください。
2. 自動再生のダイアログが出る場合、PCにインストールされているDVD再生ソフトでの再生を選択してください。自動再生のダイアログが出ない場合は、インストールされているDVD再生ソフトを起動し、再生してください。
3. メニュー画面でお好みのコンテンツを選び、決定ボタンで内容を表示させます。

【DVDの構成】

1. 10秒映画(24編)

各タイトルとストーリーの文章化例については裏面の映像リストをご参照ください。

2. おまけ映像

「物の位置の記憶クイズ」(10編)

コップに隠されたリンゴや車の位置を記憶して、当てるクイズです。10の異なった条件による映像が収録されています。能力評価のテストではありませんが、個人別に解答状況や、その推移をみることは可能です。

「手品映像」(1編)

不自然な状況に対する驚きや、(物理的法則に対する)矛盾点の指摘の有無を、みるために作成した映像です。

「描画映像」(4編)

描画練習のために作成した映像です。映像を一時停止させながら、1プロセスずつ描線して、絵を完成させます。

3. 資料 「10秒映画の学習方法」

10秒映画学習にあたってのスライドによる解説資料です。

【10秒映画の映像内容について】

1. ストーリー性について

非常に短い映像ですが、ストーリー性を持たせています。「すると」ということばで表されるような展開を感じてもらえれば、と思います。ストーリー性を付与した目的は、①作品概念の形成、②叙述における表現形式の学習、があげられます。

2. 作品概念の形成

映像の視聴や文章表現化を通して、外在化された表現=作品としての認識を促すことができれば、と考えています。作品に対する主観性(評価や感想など)と客観性(共有認識や三人称的視点)の形成が、自分と他者の認識向上にも寄与すると思います。

3. 叙述における表現形式の学習について

①語りの視点について

映像の文章化については、さまざまな表現が可能ですが、文章化例(裏面参照)で示したような、三人称的視点での語りを基本として考えました。人間が一部登場する場合も無主語で作成しています。(例:「壁にクギを打ちました」)

②使用される語彙について

各映像ごとに、キーとなる名詞・動詞・形容詞があり、語彙学習の目的があります。
(例: No.9「プレゼント」 箱・リボン/振る・ほどく・開ける)

とくに動詞については、状況の変化を表す語(「増える」「消える」等)や、自動詞・他動詞の適切な使用が重要となります。

(例:「怪獣がサイコロを倒してしまいました。」「ドングリは、3個とも倒れました。」)

③文法表現について

②とも共通しますが、状況変化を表す表現が重要となります。的確な叙述のためには、過去形・完了形などの時制や、～ている・～ていくなどのアスペクト表現、「出てくる」「飛び上がる」などの複合動詞の使いこなしが求められます。

【視聴解学習について】

読解・聴解に対して、映像の理解を表す適切な用語がないため、「視聴解」と名づけました。映像内容についての質問や、プロセスの再現(類似した事物を用いて過程を再現させる)などによって、文字未習得段階の子ども(=読解ができない)や、表出言語に未熟さが強い子ども(=ことばで理解を表せない)の評価と学習を行う目的があります。映像(作品)の共有認識を基盤として、「題材⇄質問」構造の洞察を促したいと考えています。

★以上、10秒映画の製作意図も含めて、記述しました。子どもといっしょに、画面を覗き込んで、楽しんでいただければ幸いです。

《葛西ことばのテーブル 三好純太》

映像リスト (映像番号/タイトル/ストーリーの文章化例)

No.1 「車」

青い車が止まっていました。緑色の車が通り過ぎました。つぎに白いバスが、通り過ぎました。最後に、赤い車が走って来て、青い車にぶつかりました。

No.2 「本」

青い本がありました。本を開いてページをめくっていると、トランプが、はさまっていました。そのトランプを取り出して、かわりに葉っぱを入れました。そうして本を閉じました。

No.3 「ドングリ」

緑の紙の上に、ドングリを3個立てました。そのドングリに向かって、青いボールを転がしました。ボールが当たって、ドングリは、3個とも倒れました。

No.4 「カード」

カードが3枚ありました。黄色いカードをめくると、星が出てきました。緑のカードをめくると葉っぱが出てきました。さいごに赤いカードをめくると、人が出てきました。すると、人がカードからはがれて、起き上がりました。

No.5 「星」

キラキラ星の音楽に合わせて、星がひとつずつ出てきました。星はだんだん増えて行きました。そうして最後に、全部いっぺんに消えました。

No.6 「アヒル」

アヒルが、鳴きながら階段を、のぼっています。そうして、階段のいちばん上まで行きました。するとアヒルは、そこからピューツと空に飛んで行きました。

No.7 「風車」

風車が立っていました。はじめに手でおぎました。でも風車は回りません。次に、うちわでおぎました。すると風車は回り出しました。

No.8 「風船」

赤いトラックが走って来て、止まりました。屋根(ふた)があきました。すると、音楽が鳴って、トラックの中から風船が3つ出てきました。風船は、フワフワ空に昇って行きました。

No.9 「プレゼント」

緑の箱のプレゼントがありました。箱を振ると、カタカタ音がしました。ピンクのリボンをほどいて、ふたを開けると、中に、赤いアメが3個、はっていました。

No.10 「怪獣」

お箸でサイコロをつまんで、5個つみ重ねました。すると、怪獣がやって来て、サイコロを倒してしまいました。

No.11 「タオル」

ピンク色のタオルがありました。そのタオルを半分におりました。それからタオルを巻きました。テープで留めて、タオルを机の上に、立てました。

No.12 「形」

黄色い紙と青い紙が重なっていました。すると、黄色い紙と青い紙の間から、赤い三角が出てきました。それから黒い丸が出てきました。

<p>No.13 「折り紙」 黄色い折り紙がありました。その折り紙を半分におりました。そうしてもう一度、半分に折りました。ハサミで角を三角に切りました。切った三角を広げると、小さな四角ができました。</p>	<p>No.14 「ピストル」 机の上に、トランプの箱を立てました。緑色の玉をピストルに入れました。トランプに向けて、ピストルを撃ちました。玉が当たって、トランプが倒れました。</p>
<p>No.15 「トイレトペーパー」 トイレトペーパーがひとつありました。すると、トイレトペーパーの穴から鉛筆が出てきて、引っ込みました。こんどは腕時計が出てきて、また引っ込みました。</p>	<p>No.16 「指輪」 白い玉がありました。その玉を、手で割ると、中から指輪が出てきました。その指輪を取り出して、小指にはめました。</p>
<p>No.17 「数字」 1と書いた積木がありました。1の右に、2の積木を置きました。つぎに1の左に3を置きました。3の上に4を置きました。2の上に5を置きました。さいごに、4と5の間に、6を置きました。</p>	<p>No.18 「マメ」 お皿に豆が入っていました。スプーンで2杯、豆をすくってコップに入れました。コップを持ちあげると豆がこぼれました。コップの底に穴が開いていました。</p>
<p>No.19 「四角」 赤い四角と青い四角がありました。赤い四角が、青い四角に近づくと、ピタッとくっつきました。すると二つの四角は、いっしょにグルグル回り出しました。</p>	<p>No.20 「けむり」 赤いカードがありました。そのカードを人さし指でこすりました。そうして、人さし指と親指をくっつけたり、離したりすると、指の先から、白い煙が出て来ました。</p>
<p>No.21 「新聞紙」 誰かが新聞を取りました。すると反対側から別の人が新聞を取りました。そうして新聞の引っ張りあいになりました。とうとう新聞は二つに千切れてしまいました。</p>	<p>No.22 「絵」 壁に、トンカチで釘をうちました。その釘に、お花の絵を掛けました。ちょっと傾いていたので、まっすぐに直しました。</p>
<p>No.23 「顔」 白いボールがありました。そのボールを裏返すと、顔が書いてありました。その顔を指でつつきました。すると、「いたい」と言いました。</p>	<p>No.24 「魚」 銀色の小さい魚が、泳いでいました。すると、むこうから、大きな黒い魚が、やってきました。小さい魚は、いそいで、石のかけに、かくれました。</p>